

機械器具 12 理学診療用器具

一般医療機器 弾性ストッキング（JMDN コード：31724000）

ジョブスト リラックス

【警 告】

<適用対象（患者）>

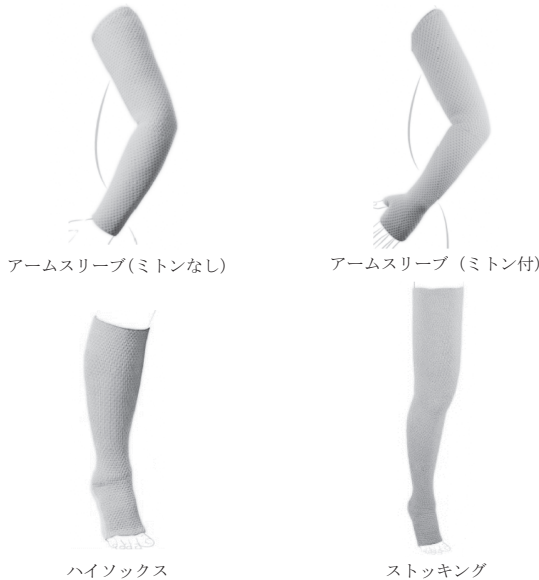
- (1) 深部静脈血栓症の患者。[本品を装着すると肺血栓塞栓症を起こすおそれがあるため。]
- (2) 動脈血行障害、急性心不全、未処置のうっ血性心不全、装着部位に未処置の炎症性疾患、化膿性疾患、癌もしくは開放創のある患者。
[圧迫により症状が悪化するおそれがあるため。]
- (3) 装着部位に神経障害のある患者。
[血行障害を起こしても認識できないおそれがあるため。]
- (4) 糖尿病患者。
[無症状の神経障害や血行障害を併発している可能性があり、痛み等の異常を認識できないおそれがあるため。]
- (5) 繊維に対して過敏症のある患者。
[接触性皮膚炎を起こすおそれがあるため。]

【禁忌・禁止】

- (1) 重度の動脈血行障害、うっ血性心不全及び有痛性青股腫の患者。
[圧迫により症状を悪化させる危険性が高いため。]
- (2) 感染性静脈炎の患者。
[菌血症や敗血症を発生、増悪させるおそれがあるため。]
- (3) 装着部位に極度の変形を有する患者。
[適正な圧迫圧が得られないため。]

【形状、構造及び原理等】

<構造図（代表図）>



品種	圧迫圧	タイプ
上肢用 15-20	20-27hPa(15-20mmHg)	アームスリーブ (ミトンなし) アームスリーブ (ミトン付)
下肢用 15-20	20-27hPa(15-20mmHg)	ハイソックス ストッキング
下肢用 20-30	27-40hPa(20-30mmHg)	

※上肢用、下肢用とも着脱性向上のためファスナーの付いたタイプもある。

1. 規格・寸法

本品は、発症箇所に応じて長さや形状等を調整するオーダーメイド品であり、各品種に合わせて使用部位の計測を行って作製される。

2. 材質

ポリアミド、ポリエステル、エラストン

<原理>

弾性素材が装着部に同心性の圧迫力を加えるとともに、末梢部から中枢に向かって圧迫力が漸減する構造になっている。

【使用目的又は効果】

本品は四肢の静脈血、リンパ液のうっ帯を軽減又は予防する等、静脈還流の促進を目的に使用される医療用の弾性ストッキング等（腕用の弾性スリーブも含む。）である。末梢から中枢に向かい漸減的に圧迫を加える機能を有する。

【使用方法等】

1. 装着前（採寸、圧迫圧、タイプ決定）

1-1. 圧迫圧、タイプを選択する。

1-2. 上肢用ストッキングは手首、前腕、上腕等を、下肢用ストッキング（ハイソックスタイプ）は、足首、ふくらはぎ、膝等を、下肢用ストッキング（ストッキングタイプ）は足首、ふくらはぎ、大腿部等をそれぞれ測定する。

1-3. 浮腫の発生状況、上記測定結果等を元に形状、サイズ寸法を決定する。

2. 装着方法（上肢用アームスリーブ：ファスナーあり、なし共通）

2-1. ファスナー付きの場合、ファスナーを開ける。

2-2. 本品の上端部を持ち、全体の半分くらいまで外に折り返す。

2-3. 腕を通し引っ張る。その際、ファスナーと縫い目が親指側に正しく位置していることを確認する。

2-4. 折り返した上端部を持って引き上げ、さらに製品上端を持って折り返した部分を戻し、全体を均等に引き上げる。

2-5. ファスナー付属の製品は、ファスナーを閉じる。

2-6. 本品を脱ぐ場合は、ファスナーを開け、上端部を持ってゆっくり掌方向に引っ張る。

3. 装着方法（下肢用ハイソックス、ストッキング：ファスナーあり、なし共通）

3-1. ファスナー付きの場合、ファスナーを開ける。

3-2. 本品の上端部を持ち、全体の半分くらいまで外に折り返す。

3-3. 本品のつま先挿入部分につま先を入れ、踵を合わせる。また、タグがある側が内側であることを予め確認する。

3-4. 両手の親指を本品の内側に入れ、均等に引き上げる。

引き上げる際には、無理に引っ張り、生地を傷めない様に十分注意する。なお、縫製部は引っ張らないこと。

3-5. ファスナー付属の製品は、ファスナーを閉じ、足先と踵部が適切に位置するように調整する。

- 3-6. 本品を脱ぐ場合は、ファスナーを開け、上端部を半分程度まで裏返し、裏返された上端部に親指を入れて足先方向に押す。また、靴ペラを使用して、脱ぐ際の補助とすることができる。その際は、本体をできるだけ下におろした状態で靴ペラを生地と踵の間に入れ生地を引き伸ばす。

【使用上の注意】

＜使用注意（次の患者には慎重に適用すること）＞

- (1) 患者との意思疎通が困難な場合には患者の状態をよく観察して使用すること。
[動脈及び静脈の血行障害又は神経障害等を発症した際に、発見が遅れるおそれがある。]
- (2) ギプス、外傷等により装着部位が長時間不動状態にある患者やベッドでの生活により運動を行えない患者には、注意して使用すること。
[潜在的に深部静脈血栓症を発症している可能性がある。]
- (3) 本品の使用により、脚に疼痛、しびれ、皮膚や爪の変色、皮膚温の低下、かゆみ、発疹、かぶれ等の異常及びその他装着前に感じなかった不快感、違和感が生じた場合は、直ちに使用を中止すること。
[動脈及び静脈の血行障害又は神経障害等を発症するおそれがある。]

＜重要な基本的注意＞

- (1) 正しい圧迫圧を得るため、装着部位の規定箇所を必ず計測し、正しいサイズの本品を選択する。またサイズ適応外の場合には使用しないこと。
- (2) 圧迫圧の過不足を防ぐため、たるみやしわのないように装着すること。本品が、装着中にたるんだり、しわが寄ったり、ずり落ちたり、誤った位置に装着されている場合には正しく装着しなおすこと。
[適正な圧迫圧が得られず、また血行障害や神経障害及び圧迫性潰瘍を引き起こすおそれがあるため。]
- (3) 腫脹の軽減等により装着中に各部位の周径が変わった場合は、適切なサイズに変更すること。
- (4) 本品に、破損（ほつれ、破れ等）がないことを確認してから装着すること。破損がある場合は適正な圧迫圧が得られないため使用しないこと。
- (5) 本品は繊維製品のため、次のような場合には破損することがあるので注意すること。
 - ①強く引き伸ばしての装着
 - ②爪が伸びていたり、反っていたりする足への装着
 - ③肌荒れした手及び足や爪の伸びた指での取扱い
 - ④鋭利なものへの接触
 - ⑤指輪、プレスレットをつけたままでの装着
- (6) 本品をはさみで切るなど加工、修理を行わないこと。
- (7) 本品は圧迫療法に精通した術者が、必ず装着者に使用方法を説明し、正しい装着手順で使用を開始すること。
また患者との意思疎通が困難な場合には、看護、介護介添する者に使用方法を説明すること。
- (8) 開放創部位は、あらかじめ適切な創傷被覆材等で覆ってから使用すること。
- (9) 軟膏等の薬品や油脂、溶剤等が付着すると繊維が劣化するので付着しないよう注意すること。
- (10) 定期的に本品を脱ぎ、使用部位に異常が無いか確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

高温、多湿、直射日光を避け、室温で保管すること。

【保守・点検に係る事項】

- (1) 洗濯は30℃以下で漂白剤の入っていない中性洗剤を使用し、洗濯する。柔軟剤は使用しないこと。
洗濯機を使用する場合は、本品を内側が外になる様に裏返し、ファスナーがある場合には閉じ、ネットに入れて、低速（脱水時600回転/分程度）で洗濯する。洗濯を他の物と同時にする場合は、色落ちのおそれがあるため、同系色の物だけにすること。
- (2) 乾燥機は使用しないこと。
- (3) 乾燥時は、平らな所に置いて乾燥させること。
- (4) ドライクリーニング、アイロンがけは生地を傷めるのでしないこと。
- (5) 残り糸があった場合でも、ほつれの原因となるため切り取らないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：川本産業株式会社

電 話 番 号:06-6943-8956（お客様相談窓口）

（10：00～17：00月～金ただし祝日を除く）

外国製造所：ビーエスエヌ ジョブスト ゲーエムペーハー

BSN-JOBST GmbH

国 名：ドイツ連邦共和国